

歴史ある企業を守り継ぐと共に 地域の方々と共に未来につなげていきたい

河内工務所 ナテリエハウス

新潟県長岡市中野西丙 470

URL : <https://nateriehouse-kawachi.com>



代表 / トータルコーディネーター **河内 大志**

100年以上にわたり、新潟県を中心に建築業を営んできた『河内工務所』。その四代目である河内代表は、会社を守り継ぐと共に、現代に即した展開を試みながら、地域の方々の暮らしに貢献している。本日は、そんな代表のもとを俳優の村野武範氏が訪問し、お話を伺った。

まずは、『河内工務所』さんの沿革と、河内代表の歩みからお聞かせ下さい。

当社は、1910年に曾祖父が立ち上げまして、私で四代目になります。新築注文住宅・リフォーム・増改築工事、住設機器販売修理などを手掛けています。私は祖母から「大工さんになるんだよ」と言われていました。学業修了後は、修業のためある建設会社に入社したのですが、数カ月後に倒産の危機に見舞われてしまい、退職して家業に入ることになりました。当初は、正直に言うとお仕事を簡単に考えていた節がありました。当然ながら、いざやってみるとそう簡単にはいかず、これは真剣にやらなければならないと本腰を入れ直しましたね。また、当社の商圏はお客様方の生活圏内でもありますから、常に見られているような感覚がありました。「後継ぎは全然駄目だな」と言われぬように、地域の皆様に認められたい、という思いは常に持っていましたね。

歴史ある会社を継ぐという自覚と責任を持っていらっしゃるんですね。

地域の方々や、曾祖父、祖父、そして父が築いてきた基盤があってこそですから、感謝しています。特に父は、いわゆる職人気質と呼ばれる職人ではなく、柔軟な思考

を持っていました。そのため、新しいことにも積極的に取り組みますし、私自身何でも自由にやらせてもらっていたのです。その柔軟さがあつたからこそ、当社がこうして長年続いているのだと思いますね。そして、そうした柔軟な考え方は私も大切にしている部分です。

確かに、昨今は特に時代の変化が激しいですし、それに対応していかなければなりませんよね。

おっしゃる通りです。昔ながらの古き良きものももちろん大切なのですが、それだけではこの先継続していくのは難しいと思います。これまで通りのスタイルを基本としつつ、その応用という形で、時代に合わせた対応もしていきたいですね。たとえば、ホームページを一新したり、月に一度ニュースレターを発行したりしています。インターネットやSNSが発達した現代だからこそ、こちらから会社のことを発信していく必要があると思います。

皆様の反応はいかがですか。

ご好評いただいています。リフォーム事例や、どの地域で今工事をしているかなども発信しているのですが、「こんなこともできるんだ」とか「ここに行ってきたんだ」などのお声をいただきます。そうした声が住民の方々同士で伝わり、当社のごことが広がってくれたら嬉しいですね。工務店を選ぶ時は、技術や価格なども大切ですが、一番は「この人に頼みたい」と思っていたかどうかです。そのためにも、当社がどんな会社で、河内がどんな人間であるのかを、皆様に知っていただきたいのです。

決して安い買い物ではないですし、お客様も信頼できる方に頼みたいですよね。

最後に、今後についてはどのようなお考えなのでしょうか。

会社を継続させて、こういいう工務店を河内という人間がやっているよ、ということを知らせ

ていきたいです。また、長年地域に密着して事業を展開していることで、日頃から地域の方々の状況を知ることが多いのです。たとえば、「お子さんが生まれたんだな」とか、「あそここの家の方は、もう何歳になったんだな」とか。すると、自然と皆さんとお話しする機会も増えますから、そうしたつながりを上手く利用して、工務店発信のイベントを開催したいですね。そこに、地域の会社さんやお店さんにも参加してもらおうなどして、この地域全体を盛り上げていきたいら何よりです。

after the interview



「明るくて親しみやすい印象の河内代表。代々築いてきた会社を守りつづつ、時代に即した展開をしようという柔軟な思考をお持ちです。先代であるお父様譲りなのでしょうね」

村野 武範
(俳優)

